



パナソニック

エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

会社案内

Panasonic

創業以来、変わることない使命である

「社会生活の改善と向上」と「世界文化の進展」への寄与をめざし、

これまでさまざまな製品やサービスをお届けしてまいりました。

今後さらに、より良い未来づくりに貢献していくために、

パナソニックグループは事業会社制へ移行。私たちは

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社として、

新しい一歩を踏み出します。

*2022年4月1日付でパナソニック株式会社は事業会社制(ホールディングス制)に移行します。

会社分割に伴い、パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社を2022年4月1日付で設立します。

目次

1 ミッション / ビジョン

2 事業

2-1 ビジュアル・サウンド

2-2 イメージング

2-3 スマートコミュニケーション

3 社員インタビュー

3-1 中西 芳秀 設計開発

3-2 小矢 美奈子 設計開発

4 会社情報

4-1 主要拠点

4-2 関連リンク集

ページタイトルをタップすると、そのページが開きます。

ミッション

エンターテインメントとコミュニケーションの力で
人々に新しい「感動と安らぎ」を提供する

ビジョン

世界最高の映像・音響・通信で人と人をつなぎ、
明日を創造し続けるプロフェッショナル



私たちには、3つの事業があります。



ビジュアル・サウンド

「画」と「音」の新しい体験価値を創造し、お客様に感動をお届けする事業です。「VIERA」ブランドのテレビをはじめ、プライベート・ビエラ、レコーダーやオーディオシステム等、毎日のエンターテインメントにつながるさまざまな商品を提供しています。



ビジュアル・サウンド事業事例

テレビが動くくらしが変わる 「レイアウトフリーテレビ」

チューナー部から、4K放送を無線接続でモニターに伝送。モニター部は移動に役立つキャスター付きスタンドを採用し、アンテナ線の位置を気にすることなく、モニターを好きな場所に移動して楽しむ、お部屋のレイアウトがテレビの位置に縛られずに自由に活用できます。



ゲームフィールドに 入り込んだような没入感を実現する 「ゲーミングネックスピーカー」

ゲーム別「サウンドモード」を搭載し、こだわりの仕様・音質を実現しています。耳を塞がず肩に乗せる仕様で、長時間でも快適にプレイできます。



イメージング

写真と映像の枠を超え、クリエイターと共に新たな感動を届ける事業です。信頼のある「LUMIX」ブランドのデジタルカメラは、写真・映像文化の担い手であるクリエイターの想いに寄り添い、クリエイターの持つ創造性を思う存分発揮できる撮影体験を提供し続けています。

イメージング 事業事例

シネマクオリティの 動画プロフェッショナル モデル



シネマクオリティを満たす高画質イメージセンサーは発熱を伴うため、一般的なハイエンドカメラは、相応の大きなボディに放熱構造を納めます。LUMIX S1Hは、比較的コンパクトなデザインでありながら、フルサイズのイメージセンサーと動画無制限記録、防塵・防滴性能を高次元で融合させた“革新的なミラーレス”として、多くのクリエイターに衝撃を与えました。



スマートコミュニケーション

当社の強みである無線技術と音響技術を通して、
お客様に寄り添い、お客様のニーズを捉え続けることで
多くの商品がNo.1シェアを獲得しています。

ドアホン、電話などの事業では、安心、安全なくらしと
コミュニケーションを支えています。

ヘッドホン事業では、まだ経験したことのない
音との出会いをお届けしています。



スマートコミュニケーション事業事例

Technics 完全ワイヤレスイヤホン



2020年にTechnicsブランド初の完全ワイヤレスイヤホンを市場導入し、音質、ノイズキャンセリング性能など市場から高い評価を獲得しました。2021年には第2世代を導入すると同時にTechnicsブランドのラインナップを3機種まで拡大。より幅広い層のお客様にまだ経験したことのない音との出会いをお届けしています。ヘッドホンは音楽を聴くものから、周囲のノイズを遮断するものへ、近年では通話、動画など幅広いコンテンツを楽しむものへ。お客様のくらしで存在感を増しているなかで、ヘッドホンの新たな価値として提案し、事業の成長をめざしています。





社員インタビュー
設計開発 中西 芳秀



入社動機は？

「テレビに関わる仕事をするのが夢だった」

テレビが小さい頃からとにかく好きで、学校から帰るとずっとテレビばかり観ていました。だから、ゆくゆくはテレビに関する仕事をしたいとずっと思っていたんです。あとは、学生時代に学んできた電気回路や電磁気、制御工学、生産システムなどの知識が少しでも活かせるというところと、自分が大阪出身なのでパナソニックという会社が昔から馴染みのあったことも理由のひとつですね。

現在の仕事内容は？

「テレビの音声に関する設計と開発」

現在のテレビは大きく分けて、液晶テレビと有機ELテレビの2種類がありますが、その両方において音声に関する設計・開発を担当しています。ハード設計部が商品の開発責任を担う部門であるため、ソフト設計・機構設計とも連携しながら開発から製造・販売までの全体を見ながら開発する必要があります。そのため、具体的な業務内容としては大きくは4点あり、①新規音声システムの商品設計、②音声回路及びデータ設計、③各種仕様策定、④対外訴求になります。



印象に残っている仕事は？

「失敗を通じて知った責任の重さ」

いちばん覚えているのは、入社して3年目の時に急な仕様変更に対応できず、回路図に不備があり、生産ラインを止めてしまったことです。量産の前の段階だったので最悪の事態にはいたりませんでした。基板実装していただいている工場へ出張し、工場の方々と一緒に改修を行わせていただきました。「これが量産のタイミングだったらどうなっていたか」という恐怖と、工場の方々にご迷惑をお掛けしたことで、自分の設計に対する影響とその責任の重さを身をもって感じましたね。

今後の夢について

「新しいテレビ体験を生み出したい」

テレビというものは、お客様に本格的なエンターテインメント体験を提供できるいちばん身近で手軽なインターフェイスであると考えています。テレビ離れなど現在の変化が激しい環境のなかで、もっと柔軟に変化させていかなければいけないと感じております。今ここでどう変えるかの具体案は考え中ですが、その変化の中心でお客様に対して今まで体験したことがない、最高の映像・音響体験を手軽に体感できる商品を生み出したいと考えています。

中西 芳秀

設計開発 2014年入社 工学部卒

家に帰ったら、まずテレビをつける。もはやからだに染みつけた習慣という。結婚して子どもも生まれ、見る番組は変わっても、くらしの真ん中にはテレビ。家族の団らんには、やはりテレビが欠かせないと語る。

*所属・内容等は取材当時のものです。





社員インタビュー
設計開発 小矢 美奈子



入社動機は？

「お客様起点のモノづくりの姿勢」

父がパナソニックの営業をしていたので、家のなかにはいつもパナソニックの家電がありました。そして父は、折に触れて創業者である松下幸之助さんの人となりや、何回も私に話してくれたので、いつの間にかパナソニックファンになってしまっていました。それで大学院の時にインターンシップに参加したのですが、社員の方々がお客様起点で製品開発をされていることに感動して、私もそんなモノづくりがしたいと思ったのが大きいですね。

現在の仕事内容は？

「TWSイヤホンの設計」

TWS(True Wireless Stereo)という、左右のイヤホンが独立した完全ワイヤレスイヤホンの設計、回路設計および基板設計を担当しています。パナソニックのなかにある音響ブランドTechnicsのテーマである「音・音楽の感動をお届けする」。それをTWSでいかに実現するかに取り組んでいます。見た目にはもちろん小さい方がいいですが、小さくしすぎると電波の飛び、ひいては音に影響が出てしまうので、どこまで攻めて設計ができるかが腕の見せ所ですね。



印象に残っている仕事は？

「いきなり任された基板改版」

入社してすぐ担当させていただいた、DA10というドアホン用のアダプタの基板改版ですね。既存製品ではありましたが、ハードの中心である基板づくりから、試作・評価・量産切り替えまでを、新人の私にいきなり主担当として任せていただいたことはかなり驚きましたし、「ひとりでできるだろうか」と不安もありましたが同時に、とてもうれしかったのを覚えています。

今後の夢について

「夢が生まれる 感動体験をつくりたい」

この地球にはいまさまざまな課題があります。その一つひとつに私たちができることを考え、取り組み続けた先にこそ夢や野望で溢れた世界が見えてくると考えています。やるべきことはたくさんありますが、私たちの力を合わせればできないことはないと感じています。そして多くの方とつながれる時代になったからこそ、私たちが得意とするコミュニケーションの技術を使い、たくさんの夢を生み出すような体験を世界の隅々まで届けたいと思っています。

小矢 美奈子

設計開発 2012年入社 電気電子専攻卒

高校生の息子と2人ぐらし。ドライブが好きで、子どもが小さい頃から2人で日本制覇をめざして各地を旅した。最近、ホットヨガを始め、思い切り汗をかいてストレスを発散している。座右の銘は「必ず朝は来る」。何かに行き詰った時に、そっとつぶやいて自分に言い聞かせている。

*所属・内容等は取材当時のものです。



国内拠点

ビジュアル・サウンド事業

- 東京(品川) ●
- 大阪(守口) ● ●
- 栃木(宇都宮) ●



TV・BDレコーダー・オーディオ など

イメージング事業

- 大阪(守口・門真) ● ●



カメラ など

スマートコミュニケーション事業

- 福岡(博多) ● ●
- 大阪(守口) ●



ドアホン・イヤホン・ヘッドホン など

海外拠点

アジア 6 拠点

- 中国 ● ●
- ベトナム ●
- インドネシア ●
- マレーシア(クアラルンプール ● / パシル・グダン ● / セナイ ● ●)

ヨーロッパ 1 拠点

- チェコ ●



関連リンク集

パナソニックグループの採用サイト
<https://recruit.jpn.panasonic.com/>



パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社について
<https://recruit.jpn.panasonic.com/organization/entertainment/>



